

鶴崎地域ビジョン会議 通信 第4号

発行：鶴崎地域ビジョン会議事務局

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

まちづくりの将来像と事業案についてご意見を募集します

これまで、市内 13 地域において、地域の代表者等で構成する『地域ビジョン会議』を設置し、将来のまちづくりに向けて議論をしてきました。

この度、その結果を鶴崎地域の目指すべき将来像とその実現に向けた取組（事業案）としてまとめましたので、地域の皆様のご意見を募集いたします。

第 4 回鶴崎地域ビジョン会議

- 日時：平成 30 年 1 月 23 日（火）14：00～
- 場所：鶴崎市民行政センター 2F 大会議室
- 一、会長挨拶
- 二、鶴崎地区におけるまちづくりの取組事例紹介
- 三、議事
 - 1 第 3 回ビジョン会議の振り返り
 - 2 意見交換
 - ①ビジョンの再確認について ②役割分担の整理
- 四、その他

第 5 回鶴崎地域ビジョン会議

- 日時：平成 30 年 2 月 23 日（金）14：00～
- 場所：鶴崎公民館 第 1 会議室
- 一、会長挨拶
- 二、議事
 - 1 第 4 回ビジョン会議の振り返り
 - 2 意見交換
 - ・ディスカッション
- 三、その他

鶴崎地域の将来像（まちづくりのコンセプト）

みんなが住みたくなる 伝統と文化のある街

アンケート調査について

◇鶴崎地域の将来像（まちづくりのコンセプト）とその実現に向けた取組事業案（右欄の一覧）について、「鶴崎地域まちづくりビジョン」として、将来のまちづくりに向けた提言をとりまとめるため、地域にお住まいの皆様のご意見を募集いたします。

将来像や事業案に対するご意見等を以下の方法でお知らせください。

<受付期限> **平成30年4月16日（月）まで**

<回答方法>

①鶴崎支所、鶴崎地区公民館に備え付けのアンケート用紙にご記入のうえ、回収 BOX に投函

②大分市ホームページの「パブリックコメント」から、応募専用フォームで回答

【QRコードは特許商標の登録商標です】



将来像の実現に向けた取組（事業案）一覧

①豊かな歴史伝統文化の継承

- ・「鶴崎踊」「三佐の山車」「けんか祭り」などの伝統や文化を継承する
- ・伝統文化継承の拠点となる鶴崎公民館を整備する
- ・地域の子どもが伝統文化とふれあう取組を行う

②史実の顕彰による観光連携の強化

- ・歴史を活かした観光交流の推進を行う(鶴崎にゆかりのある偉人と関係する地域との観光協定など)
- ・新たな観光施設を整備する

③地域全体の防災力の強化

- ・地域のインフラを強化して防災面を強化する

④地域イベントの拡大事業

- ・外部から新たに地域イベントをプロデュースできる方を招いて地域イベント(お祭りなど)を活性化させる

⑤大野川、乙津川の河川敷を利用したスポーツ施設整備とマラソン大会の実施

- ・スポーツで鶴崎を盛り上げ、地域の活性化へつなげる
- (乙津川の河川敷沿いにマラソンコースを作りアスリートの方に利用してもらい、大野川でボート競技の練習ができるようにする、一流選手と地域住民との交流を行うなど)

⑥鶴崎地域の農業の振興

- ・地域の名産品であるニラ、水耕セリ、ミツバ、大葉の生産振興につなげる

⑦鶴崎駅周辺の整備

- ・鶴崎駅周辺のバスの利便性を向上させる
- ・地域を循環するバス路線があればまちの活性化につながる
- ・駅周辺にカフェやレストランができればにぎやかになる

⑧鶴崎地域の学力向上、地域間交流

- ・鶴崎地域の学校間で生徒の交流を行い、学力向上を図る
- ・地域の発展のために地域交流を盛んにすることで、子ども達に鶴崎の魅力を知ってもらう

⑨鶴崎市民行政センター周辺の整備

- ・鶴崎市民行政センター周辺を整備する（公園など）
- ・鶴崎地区公民館を整備する(エスペランサ・コレジオ、老人いこいの家、防災対策など)

⑩川を活かしたまちづくり事業

- ・豊かな川がもたらす水の恩恵を子ども達の郷土愛を育む教育へと活かす(大野川の歴史を継承する資料館の整備など)
- ・大野川沿いの幹線道路を整備する（戸次→高田→鶴崎）
- ・川がもたらす資源を守り、育て有効活用する

⑪空き家、空き地を活かした地域コミュニティ活動の推進

- ・生活の利便性を活かして、空き家や空き地に集合住宅を建設するなど地域コミュニティの場を整備する

⑫高田校区に多目的グラウンドの整備

- ・スポーツの振興や新たなコミュニティの創出を促すため、河川敷以外の場所に新たなグラウンドを整備する（河川敷グラウンドは大雨等に浸水する恐れがある）

⑬防災と豊かな川を活かした街づくり

- ・水辺の楽校を活用し、教育機関と避難施設を兼ねた防災複合施設を整備する

⑭将来住みたくなる街づくり

- ・道路や公共交通の機能を充実させ、生活の利便性を向上させる
- ・子どもや高齢者福祉を充実する
- ・地域の歴史を活かした街作りを行う
- ・企業の誘致や地域の大企業との連携を行う
- ・鶴崎駅前を活性化させる
- ・地域の少子高齢化への対策を行う